

平成 29 年 10 月 2 日

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 352 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

大和投資信託の「つみたて NISA」対象商品のお知らせ

当社は、「つみたて NISA」制度のもと積立投資でファンドを長期に保有するうえでの有効性の観点から、下記の商品を対象ファンドとして選びました。これらの商品は、本日、金融庁ウェブサイトで「つみたて NISA」の対象商品として公表されましたのでお知らせいたします。詳細は下記の通りです。

記

1. 「つみたて NISA」の対象ファンド 合計 11 本

◆iFree シリーズ 8 本

- ① iFree 日経 2 2 5 インデックス
- ② iFree T O P I X インデックス
- ③ iFree J P X 日経 4 0 0 インデックス
- ④ iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジあり)
- ⑤ iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)
- ⑥ iFree S&P 5 0 0 インデックス
- ⑦ iFree 新興国株式インデックス
- ⑧ iFree 8 資産バランス

◆ダイワ・ライフ・バランス 3 本

- ⑨ ダイワ・ライフ・バランス 3 0
- ⑩ ダイワ・ライフ・バランス 5 0
- ⑪ ダイワ・ライフ・バランス 7 0

※iFree シリーズは長期、分散、積立にふさわしいファンドとの位置づけで、昨年 9 月にネット専用ノーロードファンドとして提供を開始し、現在 14 本がラインナップされています。今回そのうち 8 本が「つみたて NISA」の対象ファンドとなりました。

※ダイワ・ライフ・バランスの 3 ファンドは、平成 17 年 6 月から確定拠出年金制度向けに提供させていただき、10 年超の実績を有しております。現在は「つみたて NISA」によって、幅広いお客様にご利用いただけるようになりました。

2. 商品の特色と適合性

「つみたて NISA」は、年間 40 万円の範囲内であれば、最長 20 年間にわたり投資成果を非課税で享受できる制度です。同じ商品を継続的に等金額ずつ追加購入することで平均保有コストを下げる効果も期待できるため、少額からの長期の積立投資による資産形成に活用できる仕組みとなっています。

当社が選定した下表商品は、将来の資産形成のため長期に積立投資を利用するお客様にわかりやすい内容で、かつできるだけ投資に要する費用も軽減することをめざしました。いずれのファンドも、「つみたて NISA」を利用して、みなさまの資産形成のお役に立てる商品であると考えております。

ファンド名	説明
iFree 日経 2 2 5 インデックス	わが国を代表する銘柄に分散投資することで、わが国の経済成長の果実を株式市場の成長という形で享受することが期待できます。指数に連動した値動きがわかりやすいため、これまで預貯金中心だったお客様が株式に投資するのに適した商品と考えます。
iFree T O P I X インデックス	東証一部に上場している全ての銘柄に分散投資することで、わが国の経済成長の果実を株式市場の成長という形で享受することが期待できます。指数に連動した値動きがわかりやすいため、これまで預貯金中心だったお客様が株式に投資するのに適した商品と考えます。
iFree J P X 日経 4 0 0 インデックス	R O E 等の観点でファンダメンタルズに裏づけのある銘柄に分散投資することで、わが国の経済成長の果実を株式市場の成長という形で享受することが期待できます。指数に連動した値動きがわかりやすいため、これまで預貯金中心だったお客様が株式に投資するのに適した商品と考えます。
iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジあり)	外国の株式を幅広く地域と銘柄に分散投資することで、世界の経済成長の果実を株式市場の成長という形で享受することが期待できます。指数に連動した値動きがわかりやすいため、これまで預貯金中心で、 <u>為替ヘッジコストの負担があっても為替リスクの軽減を求め</u> るお客様が株式に投資するのに適した商品と考えます。
iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	外国の株式を幅広く地域と銘柄に分散投資することで、世界の経済成長の果実を株式市場の成長という形で享受することが期待できます。指数に連動した値動きがわかりやすいため、これまで預貯金中心だったお客様が <u>外貨建て株式に投資</u> するのに適した商品と考えます。
iFree S&P 5 0 0 インデックス	米国の代表的な銘柄に分散投資することで、米国の経済成長の果実を株式市場の成長という形で享受することが期待できます。指数に連動した値動きがわかりやすいため、これまで預貯金中心だったお客様が <u>米ドル建て株式に投資</u> するのに適した商品と考えます。
iFree 新興国株式インデックス	新興国の株式を幅広く地域と銘柄に分散投資することで、新興国の経済成長の果実を株式市場の成長という形で享受することが期待できます。指数に連動した値動きがわかりやすいため、これまで預貯金中心だったお客様が <u>外貨建て株式に投資</u> するのに適した商品と考えます。

ファンド名	説明
iFree 8 資産バランス	日本を含む世界の 8 資産へ均等に分散投資します。株式および不動産投資信託に投資することで世界の経済成長の果実を享受するとともに、これらとは値動きの異なる債券にも投資することで安定した収益の確保も期待できます。これまで預貯金中心だったお客様が <u>幅広く資産を分散したうえで投資するのに適した商品</u> と考えます。
ダイワ・ライフ・バランス 3 0	株式 3 0 %、債券 7 0 %に投資します（うち国内資産は株式 2 0 %、債券 5 5 %）。債券に重点投資することで安定した収益を確保するとともに、株式に投資することで経済成長の果実を享受することも期待できます。これまで預貯金中心だったお客様が <u>分散投資しながらより安定的に投資するのに適した商品</u> と考えます。
ダイワ・ライフ・バランス 5 0	株式 5 0 %、債券 5 0 %に投資します（うち国内資産は株式 3 0 %、債券 4 0 %）。債券に投資することで安定した収益を確保するとともに、株式に投資することで経済成長の果実を享受することが期待できます。これまで預貯金中心だったお客様が <u>分散投資しながらバランスよく投資するのに適した商品</u> と考えます。
ダイワ・ライフ・バランス 7 0	株式 7 0 %、債券 3 0 %に投資します（うち国内資産は株式 4 5 %、債券 2 0 %）。株式に重点投資することで経済成長の果実を積極的に享受するとともに、一部は債券に投資することで安定した収益の確保が期待できます。これまで預貯金中心だったお客様が <u>分散投資しながらより積極的に投資するのに適した商品</u> と考えます。

【投資リスク】

各ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

※基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

- ① iFree 日経225インデックス
「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ② iFree TOPIXインデックス
「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ③ iFree JPY日経400インデックス
「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ④ iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジあり)
「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ⑤ iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)
「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ⑥ iFree S&P500インデックス
「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ⑦ iFree 新興国株式インデックス
「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「新興国への投資リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ⑧ iFree 8資産バランス
「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、債券の価格変動、リートの価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「新興国への投資リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ⑨ ダイワ・ライフ・バランス30
「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、債券の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ⑩ ダイワ・ライフ・バランス50
「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、債券の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など
- ⑪ ダイワ・ライフ・バランス70
「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、債券の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」など

●インデックスファンドの基準価額の動きに関する留意点

ファンドの投資成果は、いくつかの要因から必ずしもインデックスに連動するとは限りません。

【ファンドの費用】

お客さまが直接的に負担する費用

	料率等
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

	料率等
運用管理費用 (信託報酬)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して以下に掲げる率（年率・税込）
	① iFree 日経225インデックス <u>0.1836%</u>
	② iFree TOPIXインデックス <u>0.1836%</u>
	③ iFree JPX日経400インデックス <u>0.2106%</u>
	④ iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジあり) <u>0.2052%</u>
	⑤ iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし) <u>0.2052%</u>
	⑥ iFree S&P500インデックス <u>0.243%</u>
	⑦ iFree 新興国株式インデックス <u>0.3672%</u>
	⑧ iFree 8資産バランス <u>0.2376%</u>
	⑨ ダイワ・ライフ・バランス30 <u>0.1944%</u>
	⑩ ダイワ・ライフ・バランス50 <u>0.216%</u>
⑪ ダイワ・ライフ・バランス70 <u>0.2376%</u>	
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

以上